

# 効果的な換気についてのポイント

(令和4年7月14日コロナ分科会)

- 高齢者施設、学校、保育所等の感染事例では、換気が不十分であったことが原因と考えられる事例が散見される等、特にエアコン使用により換気が不十分になる夏場において、換気的重要性が再認識されてきている。
- 飛沫感染や接触感染への対応に加え、エアロゾル感染に対応した屋内の効果的な換気等を行うことが重要。

## 効果的な換気を行う

- 機械換気による常時換気。定期的な装置の点検・フィルタの清掃等も重要。
- 機械換気装置がない場合は、温度を維持しながら、窓開け換気を実施。
- 必要な換気量の確保のため、二酸化炭素濃度は概ね1000ppm以下に維持。CO<sub>2</sub>センサーを活用。
- 必要な換気量が確保できない場合には、換気用ファンのほか、HEPAフィルタ付き空気清浄機(※)の使用が考えられる。  
※0.3 $\mu$ mの微粒子の99.97%以上を除去することが可能
- 施設の特性に応じた留意点を示す。(高齢者施設の有症状者への口腔介助の場合、フェイスシールド+マスク+局所的な換気)等

## エアロゾル感染を防ぐ空気の流れを作る

- エアロゾル発生が多いエリアから速やかに排気し、反対側から外気を取入れて、浮遊するエアロゾルを効果的に減少させる。パーティション等は気流を阻害しないよう配置して、局所的に生じる換気不足(空気のだよみ)を解消する。

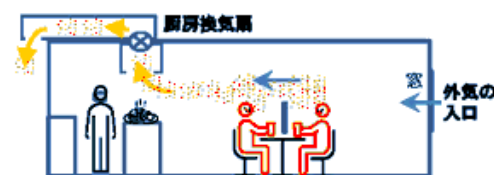
### 窓が2方向にある場合

エアロゾル発生が多いエリアから扇風機、サーキュレータで排気し、反対側から外気を取入れる。



### 換気扇がある場合

換気扇で排気し、反対側から外気を取入れる。



### 換気扇・窓がない場合

空気清浄機でエアロゾルを捕集。

